

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 9月22日

【評価実施概要】

事業所番号	3670200496
法人名	医療法人 橋本医院
事業所名	グループホーム こすもす
所在地	徳島県鳴門市大津町吉永字三石野620番地2 (電 話) 088-685-5157
評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成19年 9月 22日 (土)

【情報提供票より】(平成19年 9月 7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 14人, 非常勤 5人, 常勤換算 光 7.4人, 風 9人	

(2) 建物概要

建物構造	計量鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	管理費25,00円,その他実費
敷 金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	350 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(9月 7日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	7 名	要介護2	3 名		
要介護3	4 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.1 歳	最低 66 歳	最高 99 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	・橋本医院 ・柳田歯科 ・みどりの里
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な田園地帯にあり、建物内部は採光が良く、広々として開放的である。利用者の居室の入口には、名札代わりに絵柄の違う七宝焼きのプレートが付けられ、目印となっている。2ユニットともに管理者が看護師であり、母体医院との連携も十分に図られており、安心した生活に繋がっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善課題については改善されている。母体医院の栄養士等の助言に基づき、栄養バランスに配慮した献立となっている。緊急時の手当については、マニュアルを作成し、医師を講師に迎え研修を実施してグループホームとしての対応ができるよう取り組みがなされている。また、研修については、外部・内部研修共に計画的に実施されており、記録・報告がなされている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>スタッフ会議において内容等の検討が行われ、スタッフ全員で自己評価に取り組み、丁寧な記入がされている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は6ヶ月に1回の開催であるが、メンバーはバランスよく構成され、会議録からは、地域の協力的な申し出等が見られ、今後の効果が期待される。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>請求書に通信欄を設け日頃の暮らしぶりを伝えと共に、3ヶ月毎には「こすもす便り」を、また、同時に個々の利用者の連絡表も発行し、身体状況や生活の様子を報告している。その折に返信用の葉書を同封し家族の様子や意見・要望等を書いてもらえるよう工夫がされている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>保育園との交流など少しずつではあるが地域との繋がりが芽生えてきている。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の基本的な人権の保護及び安心な家庭生活、生きがいを持てる生活を理念として掲げているが、地域密着型サービスとしての理念の見直しは十分ではない。	○	地域密着型サービスとしての意義を全職員で確認し、地域との関係強化や地域での暮らしの継続的な支援を理念の柱とするよう見直しをされたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は共に理念の実践に取り組んでいる。日々の支援を振り返り、思いやりと尊敬の念を持ってケアに当たれるよう話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	保育園児との交流が行われている。買い物は近隣の店や、公設市場等を利用し、利用者が地域の方と交流できるよう支援がなされているが、十分に交流できるまでには至っていない。	○	田園地帯に立地し、地域との気軽な交流がなされにくい状況ではあるが、近くの市立高校などに声かけし、交流に結びつくような取り組みを期待したい。
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の改善課題については、改善され、取り組まれている。自己評価は全職員で取り組まれ、文章が丁寧で利用者に対する支援の温かさが現れている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、利用者、家族、地域包括支援センター職員、民生委員等が参加して開催され、現状の報告や意見交換がなされている。開催状況は6ヶ月に1回である。	○	今後、2ヶ月に1回開催し、検討事項や懸案事項について報告しあい、実績を積み上げていくようにされたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市介護相談員が月2回来訪して利用者の話を傾聴し相談等受けている。また、年2回市介護保険課職員を交え報告会が開かれており、市との連携は十分になされている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	請求書に通信欄を設け日頃の様子を伝えると共に、3ヶ月毎に「こすもす便り」を発行し行事や職員の紹介等がなされている。同時に利用者毎の連絡表を発行し、日々の暮らしぶりや気になること、身体状況を報告している。金銭管理についても個々の出納帳にきちんと記載され、家族の確認もされている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	3ヵ月毎の連絡表発行時に、返信用葉書も同封し、家族からホームに対する希望や要望を記入して返信してもらうよう工夫している。また、来訪時にも気軽に言ってもらえるような雰囲気作りに配慮し、スタッフ会議等で話し合い運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は少なく、利用者・家族と馴染みの関係ができています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修計画を立て、法人内はもちろん他施設での研修も受講している。毎月のスタッフ会議の際に勉強会を設けており、研修報告をおこない、内容を職員全員が共有できる仕組みになっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム・小規模多機能型居宅介護等の研修やケアマネジャー研修等で情報の収集や連携を図っている。また、市内の全グループホームとのネットワーク作りや、相互訪問等の活動も計画されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の安心と納得を一番に考え、まずは見学に来てもらい、利用者・家族の意向に添ってゆっくりと利用に繋げるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑つくりの得意な人や、絵画の得意な人などがいてその方達の個性や想いを支えあう関係が構築されている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中で利用者の想いを見極め、さり気なく利用者に寄り添い個々の尊厳を大切にす支援がなされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者・家族の意向や職員・医師の意見等を通して課題を把握し、介護計画に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	スタッフ会議が頻繁に開かれており、利用者の希望や意向をケアに十分反映されている。状態に変化のあった時にはその都度介護計画の見直しをしているが、あまり変化のない利用者の介護計画の見直しは要介護認定の有効期間と同じに設定している。	○	心身の状態が安定しているような利用者の場合も、実情に即した、あるいは変化の兆しに予防的に対応していくため、3ヶ月に1回の見直しが求められる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制をとっているため、利用者の負担となるような受診や入院を回避し、また、早期退院の受け入れや医療処置を受けながらの生活の継続の支援も行なわれている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望するかかりつけ医となっている。協力医以外への通院や受診は基本的には家族の同行となっているが、場合によって職員が代行するようにし、契約時に説明し、同意を得ている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の受け入れが困難な旨は重要事項説明書及び契約書に明記されており、すべての利用者・家族に説明し納得してもらっている。また、安心してサービスが利用できるよう日頃の健康管理や急変時の対応について医療機関とも密に連携をはかり、方針を統一している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会の折に、職員の意識の向上を図るとともに、対応に問題があると思われる時にはその都度注意を促す等、利用者のプライバシー確保への取り組みがなされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な日課は持っているが、時間を区切った過ごし方ではない。その時の個々の状況に合わせ買い物や散歩、畑作り等柔軟な対応がなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と相談してメニューを決めている。時には一緒に収穫した野菜を食材に使って調理をし、利用者と職員が同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できる体制にしており、入浴したい日、希望する時間に入れるようにしている。入浴を拒む利用者には、言葉かけや家族の協力を得るなどした対応の工夫がなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作りや畑作り、今年初めて取り組んだ利用者主導の梅干づくり、また、お茶や生け花等利用者の経験や得意分野を活かした場面が設けられている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候や、利用者の状態に合わせて散歩、買い物、ドライブ等に出かけたり、喫茶店や戸外でおやつなど支援が行なわれている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵はかけていない。利用者が外出しそうな様子を察知した時には、さりげなく一緒についていく等し、安全面にも配慮がされている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て避難訓練、通報訓練、消火器の使い方、避難経路の確認等行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量をチェック表に記録している。また、利用者個々の状態に合わせて高カロリー補助食を利用している。献立については協力医院の栄養士にチェックしてもらいアドバイスを受け、カロリーに関する勉強会においても指導を受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や居間には季節の花が置かれている。天窓からの陽ざしが明るいリビングでは、調理の音が聞こえたりにおいが漂っている。広いウッドデッキから中庭に通じており、四季折々の風情が楽しめる。浴室やトイレも清潔で要所に手すりが付けられており安全に配慮されている。また、広い畑があり野菜作りに精を出す利用者も居られる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室入り口に好みの暖簾が吊られ、その方らしさが出ている。居室には家族の写真を飾られたり、鉢植えの花を置いた部屋もあり訪問される家族と一緒に楽しんで手入れされている。		